



2021.4.16.

“フォールスカード”

フォールスカード

ディフェンスであるカードを出してディクレアラーをだますことをフォールスカードと言いますが、ある特定のカードを出して間違えさせるだけでなく、全体像をだますということもあります。

町田のシードポイントチームの試合で出てきましたが、  
自分たちバル、相手ノンバルで

♠ J7 ♥ KQJ65 ♦ J8 ♣ K532

を持っています、右手のディーラーが1 S オープンをしました。2 H と言いそうになりますが、ぐっと我慢してパスします。すると左が2 D と言い、右が2 S で結局左手の3 N T になりました。パートナーから♥ 8 がリードされてきます。

ダミーは

♠ AKQ54 ♥ 109 ♦ Q109 ♣ QJ10

でした。正しくは♥ J をフォローするのですが、ここで考えます：ディクレアラーは♥ A を持っていることは明らかですし、パートナーは3枚からリードしてきたに違いありません。しかしさてよと考えます。こちらはオーバーコールしていませんからこちらが5枚ハートとはディクレアラーには知られていません。こちらが3枚、パートナーが5枚と思わせればなにか良いことが起こるかも知れないと思い♠ Q をフォローしてみます。つまりこちらが♥ KQ5 の3枚、パートナーが♥ J8763 の5枚と思わせると安全なこちら向きにフィネスをしてくれるかも考えたのです。だからまず♥ Q をフォローし、次いで♥ K、♥ 5 と出してみました。案の定ディクレアラーは♥ A で上がり、しばらく考えた末にハンドから♠ 10 を出してフィネスしてきました。こちらが3枚ハートならディクレアラーとしてはごく通常のプレイです。しかし♠ J で取ってあと♥ J と♥ 6 を取って1ダウンさせました。アザーテーブルでは2 H とオーバーコールしていたので安心して安全なパートナーの方に抜けるフィネス、つまりダミーから♣ Q を引いてKのフィネスをし、11トリック簡単にメイクしたそうです。教訓として何でもビッドすればよいということはない、ということ(=沈黙は金、雄弁は銀)を地でいったハンドでした。